

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】令和7年6月20日

評価対象事業		評価者	文化課長 島田 義正	
共生-29	文学館管理運営事業	☒ 自治事務	主管課	文化課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化	施策の方針	2-(2)-①文化活動の支援・促進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	観覧や教養及び調査・研究に資するため。
効果	鎌倉ゆかりの文学及び文学者に対する理解を深めることができる。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

休館中の文学館を、委託等により適切に管理した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	文学館管理運営事業	施設管理委託料、倉庫賃借料	-	- / -	-	-	-
				39,846 / 43,963	46,572		-
02	文学館維持修繕事業	維持修繕料	-	- / -	-	-	-
				1,669 / 2,500	2,500		-
03	危険木伐採事業	危険木伐採委託料	-	- / -	-	-	-
				1,308 / 1,364	1,364		-
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	1,298 / 1,518	0		
			地方債	/			
			その他特定財源	14 / 14	14		
			一般財源	41,512 / 46,295	50,436		
			事業費の合計(千円)	42,824 / 47,827	50,450		
			人件費(千円)		4,753	4,959	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.2	1.2	0.8	0.4	0.5	0.5
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5	0.5

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	文学館管理運営事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	館の適切な管理のため。	-
02	文学館維持修繕事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	館の適切な管理のため。	-
03	危険木伐採事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	館の適切な管理のため。	-
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
			協働実施済の場合のパートナー 市民団体(不特定)

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
文学館は本市ゆかりの文学及び文学者の功績を市民等に発信する場であり、また、本市の文化振興において重要な役割を担っている。また、本市景観重要建築物である本館やバラ園を有する広い庭園等、魅力あふれる施設であり、コロナ禍以前は10万人を超える来館者が訪れた年もあったことから、妥当性については「市民ニーズ」を「変わらずにある」とした。 文学館は、開館から約40年が経過し、施設・設備の老朽化が見られ、その歴史的建造物としての価値をできる限り保存しながら、改修するよう慎重に進めているため、現在は休館しており、令和11年(2029年)4月頃の再開館を予定している。閉館中は、市が管理者となり、施設及び収蔵品等について適切な管理に努める。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	利用料金収入(円)						単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
指定管理者からの提案による数値目標 (指定管理期間が令和4年度までのため、 目標も令和4年度までとしている。)	目標値	37,880,000	31,000,000	31,500,000	-	-		
	実績値	10,152,950	16,706,040	31,186,660	-	-		
	達成率	26.8%	53.9%	99.0%	-	-		

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	歴史的建造物である特殊性のある建物の維持管理業務であり、施設を適切に維持するための義務的な事業であるため、他市との比較による評価は馴染まないと考える。
--------------------------	---